

2023~2024 カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
4	2	3	4	5	6	7
月	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30	31				29

日	月	火	水	木	金	土
10	1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13
月	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
5	7	8	9	10	11	12
月	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
11				1	2	3
	5	6	7	8	9	10
月	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
6	4	5	6	7	8	9
月	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
12					1	2
	3	4	5	6	7	8
月	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					30

日	月	火	水	木	金	土
						1
7	2	3	4	5	6	7
月	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30	31				29

日	月	火	水	木	金	土
1						
	1	2	3	4	5	6
月	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
8	6	7	8	9	10	11
月	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
2					1	2
	4	5	6	7	8	9
月	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
9	3	4	5	6	7	8
月	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
						30

日	月	火	水	木	金	土
3						
	1	2	3	4	5	6
月	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
	29	30	31			

（注）
 休館日
 企画展・特集展開催日

2023年度福島県立博物館利用案内

- 開館時間/9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日・県民の日(8/21)の場合は火曜日)
 祝日の翌日(土・日にあたる場合は開館)
 6/27(火)・12/19(火)は館内整備休館日
 12/28(木)~1/4(木)は年末年始休館日
 ※詳しくはカレンダーをご覧ください。

●常設展観覧料/一般・大学生:280円(20名様以上の団体の場合は220円)
 高校生以下:無料

※こどもの日5/5(金・祝)、県民の日8/21(月)、敬老の日9/18(月・祝)、文化の日11/3(金・祝)は、すべての方の常設展観覧料が無料です。
 ※学校教育に基づく活動として観覧する場合の大学生および引率者、公民館等の団体は、事前の申請(観覧日の3営業日前まで)により、常設展料金の減免措置が受けられます。観覧料免除申請書は当館ホームページよりダウンロードの上ご利用ください。

●企画展観覧料 企画展開催中はこの観覧料で常設展もご覧いただけます。(会期中有効)

展覧会名	企画展 Go! Go! 5世紀 —東北地方中・南部の古墳文化—	企画展 仕事の仕事をしている仕事 —福島のものづくりと民藝—	企画展 伝える 災害の記憶 —あいおいニッセイ同和損保所蔵 災害資料—
会期	4月29日(土・祝) ~7月2日(日)	7月15日(土) ~9月24日(日)	10月7日(土) ~12月17日(日)
一般・大学生	1,000円(800円)	1,000円(800円)	1,000円(800円)
高校生以下	無料	無料	無料

※()内は20名以上の団体料金 ※特集展は、常設展料金です。

- 年間パスポート/有効期限:ご購入日より1年間 料金:2,000円
 販売場所:福島県立博物館受付カウンター
 ※当館の常設展・企画展を何回でもご覧いただけます。(企画展は福島県立博物館主催のみ有効)
 ※パスポートのご使用は氏名欄に署名されたご本人に限ります。他人へ譲渡または貸与することはできません。
- 友の会/友の会にご入会いただきますと、『友の会会報』や広報紙『なじよな』等の送付などの特典が受けられるほか、古文書愛好会や化石・鉱物探検隊、考古学倶楽部、仏像を研究し旅する会といったサークル活動にご参加いただけます。

●雪国ものづくり食堂 つきない 営業時間:9:30~16:30 ※博物館開館日のみ営業



- JR会津若松駅から約3km タクシーで約10分
- 会津若松駅から まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
- 会津若松駅から まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

♿ 車椅子使用者用駐車場 博物館西側「鶴ヶ城三の丸口」バス停そば:2台
 一般駐車場内博物館入り口側:3台
 ※ご不明の点はお問合せください。

福島県立博物館 Fukushima Museum

お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986
 〒965-0807 会津若松市城東町1-25
 HP <https://general-museum.fcs.ed.jp/>
 e-mail general-museum@fcs.ed.jp



県
けんぱく

博

令和5年度
展示案内



Exhibitions
FUKUSHIMA MUSEUM
2023

館内のご案内



- A 総合受付・チケット販売
- B エントランスホール
- C 売店
- D 図書コーナー
- E 展示ロビー
- F 雪国ものづくり食堂 つきない
- G 総合展示室
- H 部門展示室
- I 企画展示室
- ☎ コインロッカー
- ♿ 休憩室
- ♿ トイレ
- 👶 ベビーケアルーム

福島県立博物館
Fukushima Museum

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、予定が変更になる場合があります。
 ※講座・イベント情報は、ホームページ及び広報紙「なじよな」をご覧ください。
 表紙: 琴弾埴輪(泉崎村原山1号墳出土 当館蔵)/けんぱく編(会津木綿当館オリジナル縞柄)

春の企画展
Go! Go! 5世紀 —東北地方中・南部の古墳文化—
 会期:4月29日(土・祝)~7月2日(日)

今からおよそ1600年前、日本最大の古墳がつかられ、アジアの国々との交流が活発になる時代。東北・ふくしまでも、古墳の数が増え、カマドで米を蒸して食べるようになるなど、社会や文化に変化が起こりました。そんな5世紀という時代を、埴輪や土器など地中に眠っていたモノたちをご案内します。さあ、5世紀へGo!



左/中島村四穂田古墳出土 三角板飯短甲(中島村教育委員会蔵・当館寄託)
 中央/本宮市天王壇古墳出土 イノ形埴輪(本宮市教育委員会蔵)
 右/喜多方市灰塚山古墳 現代によみがえった王(東北学院大学辻ゼミナール画像提供)

夏の企画展
仕事の仕事をしている仕事 —福島のものづくりと民藝—
 会期:7月15日(土)~9月24日(日)

福島県内では地域ごとの気候や豊かな自然の特質にあわせた多様なものづくりが行われてきました。地産地消を主とし、素材の性質をいかして生み出されてきた暮らしの品々。本展では、民衆の手仕事の中に美を見出した民藝運動の主導者の一人である作家・河井寛次郎(1890-1966)の言葉を手がかりに、「仕事」のあり方を紐解きながら、福島のものづくりの魅力をあらためて探ります。



柳宗悦・河井寛次郎 書(個人蔵)
 会津本郷焼 にしん鉢(個人蔵・当館寄託)
 檜枝岐村 つけ蓑(当館蔵)

秋の企画展
伝える 災害の記憶
 —あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料—
 会期:10月7日(土)~12月17日(日)

関東大震災から100年となる節目の年に、大正後期から戦前期にかけ廣瀬鉦太郎氏が収集した「同和火災コレクション」をご紹介します。おおよそ18世紀から20世紀初頭に全国各地で発生した様々な厄災の史料を主とし、災害の生々しい状況を伝えるとともに、災害を擬人化してユーモラスに描いた史料や「ふくしまの経験」も展示します。現代や未来の防災・減災につながるヒントを見つけに来てください。



寺崎廣業「尾濃大地震」(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社蔵)
 「鈴を押える鹿島大明神」(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社蔵)

冬の特集展
古い道具と昔の暮らし —今の生活と比べてみよう—
 会期:2024年1月13日(土)~3月17日(日)

私たちの暮らしとそこにあふれる道具は、すごいスピードで進歩しています。それによって便利になったことはもちろんですが、一方で失ってしまったものもあります。この特集展では、身近な生活の道具をテーマに、私たちの暮らしの様々なうつりかわりをご紹介します。未来のために、過去の生活から学べるものがきっとあるはずですよ。




羽釜(当館蔵)
 氷冷蔵庫(当館蔵)

よみがえる会津大塚山古墳
 会期:4月1日(土)~9月3日(日)
 10月31日(火)~2024年3月31日(日)

展示場所:部門展示室 考古

東北地方で唯一の「三角縁神獸鏡」をはじめとする、会津大塚山古墳の豊富な出土遺物が一堂に並びます。日本古代史上でも重要な会津大塚山古墳とはどんな古墳なのか、わかりやすく紹介します。




会津大塚山古墳出土三角縁神獸鏡(会津若松市教育委員会蔵・当館寄託、国重要文化財)

会津唐人風の世界
 会期:4月25日(火)~6月25日(日)

展示場所:展示ロビー

「べるくんだし」などの独特の形やデザイン、戊辰戦争当時のエピソードなどで知られる会津の唐人風(とうじんだこ)。当館所蔵の唐人風を一挙公開し、その魅力に迫ります。




会津唐人風(当館蔵)

祈りのふくしま7
 —会津の神様 小平湯天神と土津神君—
 会期:9月2日(土)~11月26日(日)

展示場所:部門展示室 歴史・美術

小平湯天満宮に祀られる文芸学問の神・菅原道真、土津神社に祀られる会津松平家初代・保科正之。ともに会津の人々から敬われてきました。神への祈りを両社に伝わる美術工芸品から紹介します。




狩野探幽「保科正之画像(束帯)」(土津神社蔵・当館寄託)

地域に生きた民間宗教者
 会期:10月31日(火)~12月17日(日)

展示場所:展示ロビー

かつては多くの地域に、庶民信仰にもとづいた民間宗教者がいました。地域の人々にとっての心の拠り所として機能していた、そんな民間宗教者の一例をご紹介します。




ある民間宗教者の自宅にすえられた祭壇

手仕事が生む花 —ふくしまの彼岸花—
 会期:2024年1月30日(火)~3月31日(日)

展示場所:展示ロビー

生花の手に入りにくい春の彼岸の時期を中心に、会津地方など県内各地では紙や木で彼岸花が作られています。細かな手仕事で作られるさまざまな彼岸花をご覧ください。



会津地方(喜多方市)の彼岸花(当館蔵)

花をたずねて
 一会津ゆかりの漆芸家たち—
 会期:4月15日(土)~6月11日(日)

展示場所:部門展示室 歴史・美術

会津を拠点に漆芸家として活躍した関谷浩二。関谷の師である田口義国。戦争中会津に疎開していた田中桃仙。会津出身で文化財修復でも活躍した漆芸家の中里壽。当館が収蔵する会津ゆかりの漆芸家たちの作品に自然の美しさを探してみませんか。溜息がでるような精緻な技と表現力をご堪能ください。

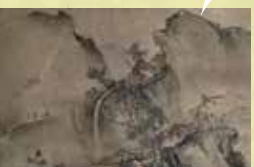


関谷浩二「蒔絵盤 芽生え」(当館蔵)

けんぱくの宝
 一会津の絵画 寄贈作品を中心に—
 会期:6月17日(土)~8月27日(日)

展示場所:部門展示室 歴史・美術

福島県立博物館が収蔵する名品を期間限定で紹介する「けんぱくの宝」。今年も開催します。近世から近代まで、工芸、絵画、初公開資料も。ぜひ会場をご覧ください。




雪村圓融「瀟湘八景図帖」(当館蔵)

三島町荒屋敷遺跡を考える
 会期:9月9日(土)~10月22日(日)

展示場所:部門展示室 考古

荒屋敷遺跡から出土した縄文時代晩期の木製品や漆製品の保存修復事業の成果を紹介しながら奥会津縄文人の資源利用とものづくり技術について考えてみたいと思います。




赤漆塗り鉢形土器(三島町蔵・当館寄託、国重要文化財)

四季のうつろい
 会期:12月2日(土)~2024年1月28日(日)

展示場所:部門展示室 歴史・美術

日本の美術は古来、自然との深いつながりを持ってきました。花鳥風月、雪月花の風情、年中行事、農作業、季節とともに暮らしてきた私たちの感性に触れる作品たちをお楽しみください。

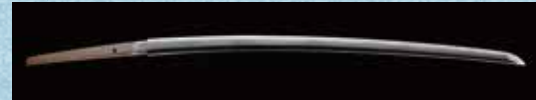


佐竹永海「秋月夜花園」(個人蔵・当館寄託)

美しき刃たち
 会期:2024年2月10日(土)~3月31日(日)


展示場所:部門展示室 歴史・美術

刀剣の魅力を伝えている「美しき刃たち」展。会津の刀匠の作を中心に紹介します。会津の刀匠を代表する名工・三善長道。関の兼定の流れをくみ、幕末に新選組副長・土方歳三の愛刀を鍛えた11代古川兼定。近年ご寄贈いただいた道辰など、それぞれの刀匠の個性を見比べていただけるのも醍醐味です。




「刀 銘 陸奥會津臣藤原道辰」(当館蔵)

これは何の化石?
 3月29日(水)~5月10日(水) 部門展示室前



ジャイロリス(当館蔵)

猪苗代城絵図
 6月21日(水)~8月21日(月) 総合展示室 近世




若松領分猪苗代城絵図(部分)(福島県立図書館蔵)

軍事郵便が繋いだ絆
 8月5日(土)~10月13日(金) 総合展示室 近・現代


みんなの震災遺産
 8月10日(木)~10月15日(日) 展示ロビー

山川艶 —会津藩家老・山川家を支えた女性—
 9月16日(土)~11月17日(金) 総合展示室 近・現代



山川艶肖像画(個人蔵・当館寄託)

古代官道をゆく
 9月30日(土)~11月26日(日) 総合展示室 古代




過所木簡(複製・部分)(当館蔵)

民具が伝える災害の記憶
 10月7日(土)~12月17日(日) 総合展示室 近・現代


山頂の前期古墳 —会津若松市堂ヶ作山古墳—
 10月7日(土)~12月17日(日) 総合展示室 古代

伝える
 —新型コロナウイルス感染症関連資料—
 4月22日(土)~5月21日(日) 展示ロビー



消毒用アルコールとマスク(当館蔵)

ニワトリのなかの恐竜
 7月7日(金)~9月6日(水) 部門展示室前



ニワトリ胚

慧日寺の宝物
 7月22日(土)~9月24日(日) 総合展示室 古代

都々古別神社の宝物
 7月22日(土)~9月24日(日) 総合展示室 中世




銅鉢(八槻都々古別神社蔵・当館寄託)

写真でみる関東大震災
 8月26日(土)~12月17日(日) 総合展示室 近・現代




東京・日本橋罹災写真(当館蔵)

若松が大変! 城下町と災害
 9月30日(土)~11月26日(日) 総合展示室 近世



文久元年若松大火絵図(部分)(当館蔵)

いいいたてミュージアム
 2024年2月3日(土)~3月31日(日) エントランスホール



スズメバチの焼酎漬(当館蔵)